

平成30年 6月24日

第8回 新木「地域会議」議事録

- 1 開催日時 平成30年 6月24日(日) 10:00~
- 2 開催場所 新木近隣センター 多目的ホール
- 3 議 事 司会進行 新木地域会議事務局長

(1) 開会挨拶 事務局長 10:00

(2) 我孫子市 市民生活部 挨拶 10:05

市民活動支援課 課長
地域会議の基本について

市の地域活性化基本方針に基づき、地域会議が8回目を迎え地域が方針に基づいて会議を開催し新木地区のコミュニケーションを推進していただき感謝いたします。

市におきましても、地域会議の活動を支援してまいりますので皆様のご協力をお願いいたします。

- (3) 意見交換おしゃべり 10:15

ご案内では、二つの議題を設定していましたが、議題が大きく「大人と子供の交流」については、別途討議することとし「買物環境の支援」の現状把握について、を議題にしていきたいと思っておりますのでご協力をお願いします。

「地域会議の開催テーマ」について
安全・安心住みよいまちづくりに向けて

「買物環境の支援」の現状把握について

- (ア) 買物支援の検討について
新木野虹の家 プロジェクト委員報告
新木地区の買物環境の現状について
- (イ) 具体的にどのような環境になっているのか
現状把握 (グループでおしゃべり)
第1グループ
第2グループ
第3グループ
第4グループ
各グループの議事録は、別紙の通り
- (ウ) 買物移動手段の方法 (参考意見)
各送迎バスの利用 (病院、自動車教習所、西部福祉
センター 等の送迎バス)

(押し付けない・理解を分け合う・聞く耳を持つを基本に
発言をいただき {見える化} を図りたいと思います。

- | | |
|---------------------------------------|---------|
| (4) 質 疑 | 11 : 30 |
| (5) 新木防災第3号の検討経過 | 11 : 45 |
| (7) アンケート記入 (地域会議)
第8回地域会議 課題と推奨事項 | 11 : 55 |
| (8) 閉 会 | 12 : 00 |

4 出席者 別紙の通り

5 次回予定日 平成30年 10月21日(日) 10:00~12:00

○ 出席者名簿

新木住宅自治会、南新木一丁目自治会、新木団地自治会、あらき野自治会、上あらき台自治会、吾妻台自治会、江蔵地自治会、上新木区自治会、松風苑自治会、ニュー新木会自治会、南新木自治会、北原地自治会、新木小学校、新木小学校P T A、湖北中学校、湖北中学校P T A、我孫子特別支援学校、湖北地区民生児童委員、湖北地区社会福祉協議会、湖北地区公民館、ふらりえ新木野、新木野高齢者見守りネットワーク、新木地区消防団16団、新木地区消防団17団、虹の家、デイサービスルーチェ、新あらきのおうち2名、新木小父親の会、吾妻台、新木地区まちづくり協議会8名

第8回新木地域会議議事録1 グループ

- ・廃車して、免許証を返還した、バスも子ども料金で利用している
- ・買い物も、新木駅、湖北駅まで徒歩で、行っている（バスも週3回くらい利用している）
- ・子どもが月1回買物を手伝ってくれる
- ・カスミは、店に行くと1回200円、電話だと300円で届けてくれる
- ・買い物することで運動、頭を使う スーパーめぐりをしたりする
- ・独居の人に美容院（我孫子市無料、市外100円）
- ・情報発信し、近隣の支援をしている
- ・助ける人も、注意をして対応することが大切
- ・県の運営なので、市との接点が少ない、地元でのかかわりが少ない中、買物ができるよう教育している
- ・職員は10人（7人が受付）で、地域サービス第一で対応している
- ・交通が不便で、タクシーを利用する人もいる
- ・情報がいきわたっていない
- ・高齢者が、自分の状態を把握していない、現状がある
- ・自治会の中で、一人暮らしの方は、一世帯である
- ・地域の役割を複数兼務している
- ・高齢者ネットワークが、活動している（面倒を見る人、してもらう人）
- ・南新木と新木野の開発格差が大きい
- ・地域会議にスーパーマーケットの参加を進める
- ・移動販売の推進
- ・防災演習のワンポイント訓練の資料は、生活に役立つ内容で良かった
- ・地域に配布しても、良い内容だと思う

第8回新木地域会議議事録2 グループ

- ・スーパーカスミやセブンイレブン等が現在行っている配送サービスが周知されていないので、近隣センターだよりや自治会ニュース等を通じの広報活動が必要。
- ・スーパー等による生鮮食品等の移動販売の導入が望まれる。(商品を見て買いたい)
一例として、取手市が支援しているのか、カスミ店の協力のもと利根川沿いの飛び地に移動販売店を開設している(月、木曜常設)。我孫子市でも検討願いたい。
- ・地域会議のメンバーに、カスミ、マルヤ、マスダを加えて協力を求めてはどうか。
- ・アビバスの運航の改善を求めたい。
 - ①出来るだけスーパー等を経由する運航経路を検討して欲しい。
 - ②現状、新木駅北側から湖北市民会館まで坂東バスの停留所が3か所あるのに、アビバスはノンストップの素通りである。途中の商店を利用したいため市へ申し入れても受け入れて貰えない。
- ・買物難民の色々なランクに応じた対策が必要。

第8回新木地域会議議事録3グループ

- ・各送迎バスの利用で、無料を有料にして有効利用できるようにしたらどうか
- ・足の便として、厚意で運行している
- ・アビバスの経路の変更、高齢化でバス停までいけない
- ・近隣センターへの経路がなくなった
- ・自治会の中で、共助、自助等と地域で助け合うことが必要
自治会で、勉強会をする
- ・買物を遠へ行きたい、楽しみたいという気持ちがかかわない
- ・14世帯の自治会ですが、お互いに迷惑を掛けないように皆頑張っている
- ・佐賀市でタクシー利用が100円と聞いている、やり方をどのようにしているのか
- ・厚意で支援してもらえるように、企業のチカラを借りる
- ・自分の事として考えていない、他人ごとになっている中で、実際に困っている人がいる
- ・送迎バスの制度を、利用情報のPRをする
- ・介護保険タクシー、福祉利用タクシー、無償、有償の制度上の仕組みを理解する
- ・買物支援の内容、希望が在宅なのか、在外なのかの把握が必要
- ・高齢化で、坂道歩けない支援必要の場合の方法
- ・高齢者宅への巡回訪問、世帯情報の把握
家の中の出の困りごと、火災報知機の取り付け、テレビが映らない訪問されるまで、楽しみを放置難民
- ・免許証の返納に伴う、困りごと
- ・アビバスを75歳以上無料とし、利用増進を図る
- ・生活お助け隊（久寺家地区）ワンコインで、継続10年
- ・福祉バスの利用方法の、見直し

第8回新木地域会議議事録4 グループ

- ・上新木区は近所に親戚・縁者等の、昔からの付き合い有で目が行き届いている。
- ・南新木1丁目は高齢者が少なく、買物難民はほとんど無い。
共稼ぎの家は取寄せが多く、不足分は土日に買物で補充する。
- ・他人の集まりの団地ではそのようなことは無く、横の繋がりは少なく、今は2人暮らしが多い。
- ・自動車の運転が出来る間は近所に買い物に行け
- ・店での買物又注文品を家まで届けてくれるシステムは有り難い。
- ・松戸(六実)のスーパーでは買物便が有り届けてくれる。(2,000~3,000円以上、電話の注文も可)
- ・福祉買物サービスバス便があれば便利になる、店内での移動の手助けもあればより良い。
- ・佐倉市のある団地では買物バス便が回っている。
- ・モラージュ柏の利用者は高齢者が多数です。
- ・アビバスの利用率は低いので、他にアビバスを利用率の高いものに変更したらどうか。
- ・アビバスの車種を変更・小型化・ルートの見直し。
- ・隣近所での付き合いが少ない。
- ・市民の移動にバスの便数を増やしてほしい。
- ・免許書の返納が少ない、市で市民の足を本格的に検討が必要。
柏市一代替利便有り、我孫子市一無し
- ・介護施設等の車両は日中空いているので利用の検討はどうか。
- ・タクシー利用をできないか(ジャンボタクシー)
- ・送迎バスの利用を促進したらどうか。(内容を自治会で回覧したら。)
- ・入居者と一緒に買い物に行くがカスミでは車いすが2台ある、マルヤには無い。
車いすはいつも持って歩けない。車いすが必要な方は車いすがある店に行く。
社協には車いすが置いてあるが稼働率はどうなのか、使わない車いすの利用方法の検討も必要だ。
- ・スーパー等の施設の内部又付近に「デイサービス」施設を設けたらどうか?
- ・買い物は行きたい時に行けるのが良い。
- ・あびこん(農産物直売所)の移動販売は可能か
- ・我孫子市の店舗が減少している。
- ・最近はお家の事情で朝食を食べてこない子が多いので一部で、家から持ってきて学校で食べさせる。
- ・登校時におじいさん・おばあさんが信号まで一緒に送ってゆく。
学校ではそのような事は特にお願いしていないが、保護者が安全・安心で行っているようだ。
- ・新木小のPTA会長より通学路の点検を行う為、一部で写真を撮ることがあるので承知してほしい。